

田中酒造場 主屋、店蔵、本蔵、仕込蔵、貯蔵蔵



|        |   |
|--------|---|
| 指定区分   | 国登録有形文化財(建造物)   |
| 読みかた   | たなかしゅぞうじょう しゅおく みせくら ほんくら しこみくら ちょぞうくら  |
| 所在地    | 美作市古町   |
| 指定年月日  | 平成29年10月27日   |
| 解説     | <p>因幡街道の宿場町である古町の中心部に建つ。主屋は、明治18年頃の建設で、木造2階建、切妻造棧瓦葺、土間に面してミセを配し、その南に式台玄関等床上部を3列9室で配する。外壁2階部分は漆喰塗で、下部に海鼠壁を配すなど、意匠を凝らす。街道沿いの景観を今に伝える建造物である。店蔵は、主屋の北隣に大正期に建設され、街路に面し棟を平行させて建つ。土蔵造2階建、棧瓦葺で、外壁は軒まで漆喰塗籠とし、1階腰部と2階下部を海鼠壁とし、四隅は上部まで海鼠壁を立ち上げる。入口は主屋との間の狭い空間に設ける。街路景観を特徴付ける土蔵である。本蔵は、明治18年頃の建設で、主屋の南東方、敷地南端中央部に位置する。土蔵造2階建、棧瓦葺で、北面中央と西面北寄りに扉口を開く。南北面に庇を設け、2階外壁は漆喰塗下部海鼠壁、1階外壁は板張もしくは土壁とする。酒造業の作業場の南方を画し、敷地内外の景観を形成する土蔵である。仕込蔵は、大正期の建設で、敷地東面南寄りに建つ南北棟の蔵である。木造2階建、棧瓦葺、桁行21.1m、梁間11.3mで、北半のみ2階床を張る。1階南端部は槽場、2階北端部は麴室とし、他は醸造樽等を置く。敷地東側の景観を作ると共に、酒造の中核をなす蔵である。貯蔵蔵は、明治18年の建設で、仕込蔵の西側に壁を接して建つ南北棟の蔵である。木造平屋建、切妻造棧瓦葺、桁行21.1m、梁間8.3mの西面南寄りに、釜場、会召場等を張り出す。床は叩きで、天井を高くとる。仕込蔵と共に酒造業の中核をなす建物である。</p> |
| アクセス方法 | 車は鳥取自動車道大原ICから北に2分の位置。電車は智頭急行「大原駅」を下車、西へ徒歩6分。   |
| 公開状況   | 街道から見える外観のみ公開。内部は非公開。   |
| 設備     |   |
| 備考     |   |